

# 復活節第六主日礼拝

## 【主日朝礼拝式次第】

### 【入祭の部】

前奏 (黙祷)  
「ああ、美しきかな善き事を告ぐるものの足よ〜『メサイヤ』より」  
G.F.ヘンデル作曲

あいさつ  
讃美歌 21/320 番  
開会の祈り  
交読詩篇 詩編69篇8〜16節

### 【み言葉の礼拝】

聖書  
✦エゼキエル書 18章 1〜4、19〜20節  
✦ヨハネによる福音書 9章 1〜12節  
(旧P.1321) (新P.184)  
応答唱 讃美歌 21/39-4 番  
教話 井上隆晶牧師  
『神の業が現れるため』

役員任職式  
使徒信条

### 【聖餐礼拝】

奉献 讃美歌 21/81 番  
教会の祈り (連祷)  
平和の挨拶  
讃美歌 21/83 番  
主のいのり  
陪餐

### 【応答と派遣と祝福】

讃美歌 21/316 番  
感謝の献物  
栄光の讃美歌 21/24 番  
派遣の言葉 井上隆晶牧師  
祝福の祈り  
後奏 (黙祷)  
「心をはげませ」(讃美歌 21 の 215)  
J.バヘルベル作曲

## 【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男  
奏楽 飯田雅子  
献金当番 エリザベス・P  
受付当番 黒澤 巖

## 【本日の予定】

◇教会学校 (朝9時30分)  
・お話し: 井上万里子  
◇讃美歌練習 (礼拝後)  
◇定例役員会 (午後1時)

## 【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り  
・5月7日(火) 午前9時  
・5月10日(金) 午前9時  
◇英会話グループ  
・5月9日(木) 午後7時30分

## 【次週主日5月12日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)  
・お話し: 澤田真弓  
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)  
・聖書  
✦使徒 1: 3〜11 (新P.213)  
✦マルコ 16: 19〜20 (新P.98)  
・教話 井上隆晶牧師  
『天に昇り、神の右の座に』  
・讃美歌 21 337、39-4、336  
・交読詩篇 詩編 70: 1〜6  
・司式補佐 井上万里子  
・奏楽 鹿野幸枝  
・献金当番 白井久美子  
・受付当番 畑耕太郎  
◇讃美歌練習 (礼拝後)  
◇教会学校教師会 (礼拝後)

## 聖句

「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。」

(ヨハネ 9章 3節)



## 【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 7日(火) 午後1時30分「大宮保育園昼職員礼拝」、8日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」
- ②4月28日(日)の教会総会で役員選挙が行われ、飯田雅子、井上万里子、屋宮英男、勝見仁、澤田昌人、鹿野幸枝、寺田律子の7名の役員が選出されました。本日、礼拝の中で「役員任職式」を行います。新役員の為お祈りください。
- ③《4月〜5月の行事のお知らせ》  
■5月5日(日) 午後1時「定例役員会」  
■5月8日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」参加費 500円  
■5月12日(日) 礼拝後「教会学校教師会」  
■5月18日(土) 午後5時「ペンテコステ・ヴィジル (東梅田教会)」  
■5月21日(火) 午前10時「心の病の勉強会」  
■5月26日(日)「中部地区交換講壇」浪花教会の川江亜希子牧師を招いての礼拝。  
■5月27日(月) 午後1時30分「シャロン千里礼拝」
- ④明日6日(月・祝)に奈良にハイキングに行きます。チラシを受付台に置いてあります。午前11時に近鉄奈良駅東改札口に集合します。ご自由にご参加ください。
- ⑤【先週の集会統計】

日	集会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
28	CS礼拝	—	1	5	6	¥2,501
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
28	朝の礼拝	9	14	3	26	¥18,100
30	朝の祈り	2	3	—	5	
3	朝の祈り	—	—	—	—	

- ⑥【4/28の献金報告】[月定] 小坪英恵、畑耕太郎 (計 11,000円) [感謝] 松岡昭 (計 5,000円) [イースター感謝] 畑耕太郎 (計 5,000円) [互助] 屋宮英男、畑季史子、畑真理奈 (計 3,000円) [建築] 畑耕太郎 (計 4,000円)  
※ 皆様の献金に感謝します。

## 【先週の説教要旨の続き】

「罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。」(24: 44〜47) 神の言葉は、ひとたび口から出されたら、取り消されることはありません。神は何年たってもその約束を守り、果たします。イザヤ書にこう書かれています。「わたしの口から出るわたしの言葉もむなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす。」(イザヤ 55章 11節) 神から出た、神の言葉とはイエス様のことです。イエス様は神の望まれることを成し遂げ、その使命を必ず果たします。その使命とは、人間に永遠のいのちを与えることです。「わたしをお遣わしになった方の御心とは、わたしに与えてくださった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させることである。」(ヨハネ 6: 39)  
サムエル記下 21章にイスラエルに三年続いて飢饉が襲いました。飢饉は神の怒りのしるしと言われていました。ダビデが主に尋ねると、先の王サウルが神の約束を破り、ギブオン人を滅ぼそうとしたからだと言われます。祝福がこの地に及ばないようにするもの、祝福を邪魔するのは人の悪、罪です。それが大地を呪わせます。そこでサウルの子孫の七名が犠牲になると、地は祝福されました。

今、私たちはイエス様が呪いのしるしである茨の冠をかぶり、すべての呪いを身に負い、犠牲となりました。そのことによって祝福が私たちに及んだのです。キリストの所で呪いは終わり、死も終わり、裁きも終わりました。あの方から赦しと命が始まったのです。私は祝福された地、エデンの園となりました。神は私の中に住み、歩かれるからです。詩編 65に「あなたの過ぎ行かれる跡には油が滴っています。荒れ野の原にも滴り、どの丘も喜びを帯びし、…谷は麦に覆われています。」(詩編 65: 12〜14) とありますが、この言葉はイエス様によって成就したのです。それを思い出すと嬉しくなるのです。